

## 総務省・消防庁、「平成23年度版消防白書」を公表

－ガスコンロの火災事故は、445件減－

総務省・消防庁は、「[平成23年版消防白書](#)」を公表しました。

平成22年(1～12月)のコンロによる火災(出火)件数は総計4,694件で、このうちガスコンロによる火災(出火)が4,248件と全体の90.5%を占めているとされています。

しかし、このガスコンロによる火災は、数字上は多いものの、最近の傾向を見ると平成19年5,627件、平成20年5,124件、平成21年4,693件と大幅に減少しています。その原因・背景については、平成19年に法制化され、市場導入された全口安全機能搭載「Siセンサーコンロ」の普及が挙げられます。

「Siセンサーコンロ」は、平成22年12月累計出荷台数1,000万台を突破。昨年10月末で1,304万3,000台(LPガス仕様697万1,000台、都市ガス仕様607万2,000台)まで普及し、今後更に増える見通しにあることから、この減少傾向は今後とも続くものと考えられます。

一方、平成22年に発生した都市ガス及びLPガス事故(ガス漏洩、爆発・火災)のうち、消防機関が出動した件数は1,043件となっています。これをガス種別にみると都市ガスが665件、LPガスが378件となっており、態様別ではガス漏洩事故が全体の79.8%、爆発・火災事故が20.2%という状況となっています。

### コンロによる火災の損害状況

区分	平成21年	平成22年	増減数
出火件数(件)	5,139	4,694	▲445
建物火災	5,054	4,612	▲442
林野火災	4	4	0
車両火災	40	38	▲2
船舶火災	2	0	▲2
航空機火災	0	0	0
その他火災	39	40	1
主なコンロ種類別出荷 件数(件)			
ガスコンロ	4,693	4,248	▲445
電気コンロ	288	290	2
石油コンロ	31	34	3
まき・炭・石炭コンロ	121	117	▲4
主な経過別出火件数(件)			
消し忘れ	3,419	2,970	▲449
過熱	439	405	▲34
可燃物の接触	183	224	41
建物焼損床面積(m <sup>2</sup> )	78,794	63,749	▲15,045
建物焼損表面積(m <sup>2</sup> )	9,175	8,674	▲501
損害額(万円)	591,836	515,697	▲76,139

## ガス事故(都市ガス・LPガス)の態様別発生件数

